

留学報告書

21014036 菅家新治

私はこの 4 ヶ月間の語学研修を通していままでの自分の人生では体験したことのない様々な体験をすることができました。私は韓国語を専攻していたので韓国に留学をしました。私はそもそも韓国語や韓国の文化に興味があったわけではありませんでした。言語選択の際も友人から誘いを受けたのでなんとなく韓国語を選択しました。留学も、クラスのほとんどが行くから自分も行っとうという程度の気持ちで決めました。4 ヶ月の語学研修が始まり韓国の地に着いた時、私はとても後悔しました。「雰囲気にもまれて留学するんじゃないか」「帰りたい」という気持ちがものすごい勢いで込み上げてきました。留学初日は食欲がわかずなかなか寝付くこともできませんでした。留学 2 日目から学校が始まり、最初の 3 週間はほぼ日本人だけで授業を行うプログラムでした。このプログラムには日本全国から学生が集まりましたが、女性が圧倒的に多かったです。最初はクラスになじめるか心配な上に自分が一番できないのではという不安でドキドキしながら授業を受けていましたが、担当してくださった先生がとても親切に教えてくださったのでスムーズに韓国語の基礎を学ぶことができました。3 週間プログラムでは課外授業が設けられていて韓国の様々な観光地を案内してもらいました。韓国の民族村や国立博物館は特に印象深かったです。今まで、日本で韓国の歴史や文化を勉強する際にはレジュメやパワーポイントを通しての学習でしたが、韓国の地で博物館や民族村を通して韓国の歴史や昔の生活を目の当たりにしてみると、とても壮大であり、美しい文化、伝統、歴史を持ち合わせている国だと感じました。国立博物館がプログラムの時間の関係上 30 分くらいしか見られなかったのがとても残念でした。しかし、この 30 分で私の韓国に対する見方は 180 度変わりすっかり韓国の文化の虜になっていました。そしてさらに驚いたことはこの国立博物館は無料で観覧できるということです。あれだけの建物の大きさであれだけの数の資料があるのだから莫大な維持費がかかっていると思います。それでも料金を取らないというのは、韓国の歴史に対してしっかりと向き合っていこうという国の姿勢だと感じられ、韓国は歴史と伝統を大切にしている国であると感じることができました。最初はかなり不安だった韓国での生活も 2 週間ほど過ぎるとだんだんと慣れ始め韓国と日本の違いに目を向けられるようになりました。まず、韓国の交通費の安さにとても驚きました。地下鉄に乗れば 140 円ほどで越後赤塚駅から新潟駅くらいまでの区間を移動することができ、地下鉄を降りてバスに乗り換えをしてもそこから 30 円くらいで移動することができます。私のイメージではバスの料金は高いイメージなので、初めて韓国のバスに乗った時は料金の安さにとても

驚きました。交通費が安いので地下鉄やバスに乗っていろいろなところへ行きました。その中で体験して気づいたことは韓国の地下鉄に乗ってみると、席が空いている場合両隣に人が座っていても座るということです。日本の電車ではたとえ席が空いていても両隣に人が座っている場合座る人はあまりいません。まさに日本とは正反対で、このことに気がつけたのはとても面白い体験でした。それからは自分も気にしないで座るようになりました。また韓国の地下鉄でも便利に感じたことは、路線が番号だけでなく色で分けられているということです。これは韓国の地下鉄に乗ったことのない人でも分かりやすく、その目的地駅の色に沿って乗っていけば誰でもたどり着くことができます。これはほんとに便利で日本の地下鉄も取り入れるべきだと感じました。授業が進んでいく中で留学生の学生生活を補助するトウミという人を紹介してもらいました。このトウミ制度は基本的に慶熙大学の学生から選ばれます。このトウミと韓国語で会話をしたりお互いの国の文化について意見交換をしたりします。私の担当をしてくれたトウミは同じ歳で釜山出身の女性の方でした。釜山の人は早口でなまりが強いと聞いていたので最初はとても不安でしたが、実際に会ってお話ししてみるとそんなことは全くなく韓国語初心者の私にあわせてとてもゆっくりと丁寧に話してくれました。トウミとの会話の中で私は韓国の文化や情勢、若者の考え方について様々なことを知ることができました。まず、私が気になっていたことはアルバイトの時給がとても安いことです。新潟の場合、いくら時給が安いところでも 710 円ですが、韓国では 700 円も貰えるところはとても少なく大体平均で 400 円から 500 円くらいだそうです。それなのに物価があまり日本と変わらない上に街を歩いていると外食をしている若者が多いので疑問に思いトウミにこのことを聞いてみると、韓国では基本的に 1 人暮らしというものをしないらしくアルバイトはお小遣い稼ぎに過ぎないそうです。地方から来て 1 人暮らしをしている人も大学に通っている人は親からの仕送りがあるそうです。私のトウミも 1 人暮らしではなく、ソウルにいる姉と一緒に住んでいました。韓国の学生はアルバイトに時間を割くのではなく、よりよい企業に就職するために勉強を優先しているそうです。友人のトウミは英語が全くできないと言いつつも TOEIC で 800 点以上とっていました。その時自分との差をかなり感じてしまいかなり自己嫌悪に陥ってしまいました。しかし韓国では、とにかくよりよい会社に就職しなければならないというプレッシャーが強く、それに伴う社会問題も生まれているそうです。トウミからそのような韓国の情勢を聞くことでより深くリアルに韓国の情勢を知ることができました。



3 週間の日本人だけで行うプログラムが終了すると、10 月からは様々な国の人たちと共に韓国語の授業を受けるプログラムが始まりました。意思疎通をとる方法が韓国語しかなく私のクラスには同じ国際情報大学からきている学生もいなかったのも最初はとても緊張していましたが、少しながらも自分の韓国語に自信がついていたのか留学初日のような不安感はありませんでした。私のクラスには様々な国や年齢の人がいて、アジア圏のみならずサウジアラビアやスウェーデンの人もいました。私は大学 2 年生なのでそれなりに上の方の年齢だと思っていたのですが、実際はかなり下のほうでした。中には 30 歳の人もいたので最初はど話しかけたらいいのかわかりませんでしたか、相手の方から気さくに話しかけてきてくれたりしたのですぐに打ち解けることができました。そして感じたことは勉強するのに年齢など関係ないということです。このようなあたりまえのことが今までわかっておらず、大学に通って勉強というものは 22 歳までの学生がするものだと考えていました。しかし今回留学をしてこのような環境におかれることで今まで自分が持っていたくだらない固定概念のようなものがきれいになりました。10 週間プログラムの授業は今まで自分が見ていた日本人だけの授業風景とは全く異なるものでした。皆が自分の意見をぶつけ合い、衝突を恐れず、間違えることを恐れずに発言しあうその授業風景にはかなりの刺激を受けました。授業中は様々な問題がありました。中国人、韓国人、日本人には理解できるニュアンスが英語圏の人たちには理解ができない。英語圏には漢字語ないから覚えるのにとっても時間がかかってしまうなど色々な問題がありました。それでも皆間違えることを恐れず積極的に先生に質問をしていました。その姿勢は今までの自分には全く備わっていなかったものだったので深く反省し、次の授業からは誰よりも積極的に発言するよう心がけました。そうすることによってとても集中して授業を受けることができるようになり、テストの成績もクラスで 2 番目になることができました。その時に 1 位がとれ

なくて悔しい思いをしたことには自分でも驚きました。しかし授業が進んでいく中で私が感じたことは決して自分が韓国語を得意なわけではなく、韓国語が日本人にとって学習しやすい言語だということです。韓国語と日本語は文法がとても似ていて言葉の響きが似ている言葉もたくさんあります。特に漢字語は発音がとても似ています。極端な話日本人は勉強を全然していなくても韓国語の読み方と最低限の文法や表現を知っていればテストではそれなりの点数をとることができます。それに対して英語圏や中国圏の人たちは文法が全く違い、「は」「を」「に」「が」という概念がなく文法を覚えるだけでも一苦労だったと思います。なので、たびたびクラスメイトからは「君はなぜ「は」「を」「に」「が」の使い分けができるのか?」という質問を受けました。これに対するよい返事が見つからず、日本語と韓国語は文法が似ているからと言うしかないのです。クラスメイトからは「日本人は韓国語を学ぶのに有利だ。私たちの苦勞が理解できないだろう」という愚痴が返ってくるのでした。そう言われるたびに行き場のないなんとも言えない悲しい気持ちが私の体の中を駆け巡りましたが、愚痴を言いながらも一生懸命韓国語を学ぼうとしているクラスメイトたちをみる時に「ああゼロからの勉強なのによく頑張ってるな。愚痴くらいきいてもいいんじゃないのか。」と思えるようになり、難しくても一生懸命取り組んで行くクラスメイトを尊敬できるようになりました。11月に入るとソラク山というところで1泊2日の現地学習がありました。そこでは他のクラスの人たちともふれあう時間をもつことができ、おかげでたくさん友達を作ることができました。その日は本来ならばソラク山を途中まで登る予定だったのですが、あいにくその日は雨で近くにある国立公園を散歩することになりました。しかし新しくできた友達との会話に夢中になりすぎて景色を全く覚えておりません。その日の夜にはレクリエーションがあり、色々なクラスの人が踊りを披露してくれたり同じ大学の平尾芽吹くんが歌を披露してくれたりしました。先生方がこのような楽しい場を設けて下さったのでクラスメイトとよりいっそう仲を深めることができました。1泊2日の現地学習が終わると期末テストに向けての勉強が忙しくなり皆一段と集中して授業を受けるようになりました。自分も中間のテスト以上の点数を取ってクラスで1位になりたいと思ったので一生懸命テスト勉強をしたのですが、またもや2位に終わってしまいました。それでも国際情報の学生の中ではいいほうなのじゃないかと思っていたのですが、国際情報の学生たちは僕よりもっと一生懸命勉強していてテストの点数もよかったです。



留学を終えて今少しだけ後悔していることはもっともっと最初から一生懸命韓国語の学習をすべきだったということです。正直、自分でもこんなに韓国語に対して深く興味がわくとは思っておりませんでした。しかし、4ヶ月間韓国という言葉・文化・歴史に触れてみて、もっともっと韓国について知りたいと思うようになりました。自分の中ではこの4ヶ月の語学研修は大成功でしたし、成功につながる事ができたのは支えて下さった家族・先生方・友人のおかげですのでこの感謝の思いを、これからよりいっそう韓国語習得にむけて勉強に励むという形でお返しさせていただきたいと思えます。

